

## 1 研究題目

サルコイドーシスを背景とした新型コロナウイルス感染症の臨床像の調査

## 2 研究の対象

当院においてサルコイドーシスと診断された患者新型コロナウイルスに罹患した患者

## 3 研究目的

当院においてサルコイドーシスと診断された患者で、新型コロナウイルスに罹患した症例を後向きに解析する多施設共同後向き観察研究である。主要評価項目はサルコイドーシスの臓器病変や治療内容毎のCOVID-19の症例、検査画像所見、重症度、治療（使用薬剤・効果・入院日数）、予後、後遺症および副次的評価項目としてCOVID-19診断後のサルコイドーシスの経過等の臨床データを集積し、サルコイドーシスを背景としたCOVID-19罹患症例の臨床像を明らかにする。自治医科大学を主管とする多機関共同研究である。

## 4 研究期間

研究倫理委員会承認後～2027年3月31日

## 5 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報（生年月、性別、人種、職業）、病歴（喫煙歴・飲酒歴、既往歴、薬剤使用歴）、サルコイドーシス診断年月日・診断時年齢、症状経過、臓器病変有無、治療内容、肺機能、肺高血圧の有無。

COVID-19診断時の年月、年齢、新型コロナウイルスワクチン接種状況、感染経路、ウイルス株、身体所見、症状、重症度、療養場所、血液検査、肺機能検査、X線・CT画像、併発症、治療内容と転帰、後遺症、リスク因子の有無、臓器病変、治療内容変化、肺機能変化、肺高血圧

## 6 研究責任者

医師 片岡 幹男